

AMD Aが震災復興支援策 今後の活動助言 岩手に団体設立

国際医療ボランティア
AMD Aは25日、東
日本大震災の被災地に
対する独自の復興支援
策をまとめ、発表した。
緊急救援活動を行った
岩手県大槌町で、AM



東日本大震災に関してAMD Aの復興支援計画
について発表する菅波代表（左）

D Aの今後の活動をサ
ポートしてもらおうボラ
ンティアグループの設
立などを計画してい
る。
グループは「AMD
A大槌クラブ」。これ
までの活動で人脈がで

きた地元の避難所のリ
ーダー的な存在の住民
ら4人で6月にも立ち
上げる。避難所や地域
のニーズを把握して
支援物資の受け入れ
を行うほか、今後の活
動の助言をしてもら
う。
他に、同町と同県釜
石市、宮城県南三陸町
の3高校で奨学金制度
を設け、各15人に奨学
金を贈ることや、医師
を派遣する継続的な医
療支援も計画。8月に
被災地の中学生45人を
岡山に招き、岡山、総
社市の中学生とサッカー
交流を行うこともあ

らためて説明した。
菅波代表は「被災
地とのつながりをつく
り、私たちは被災者の
皆さんを忘れないとい
うメッセージを発信し
たい。地域の人も協
力して支援を続ける」
と話している。
AMD Aは4月20日
まで緊急医療チームと
して医師や看護師計1
49人を現地に派遣
し、避難所などを巡回
して医療支援を行っ
た。（三島翔）